

## 第2回 魚津市立星の杜小学校運営協議会記録

- I 日時 令和7年3月3日(月)18:30~20:30
- II 場所 星の杜小学校調べ学習室
- III 出席者 協議会委員 11名、魚津市教育委員会1名

### IV 協議

#### 1 開会挨拶（木下会長、寺崎校長）

#### 2 協議

##### ① 令和6年度の学校の様子について

###### ○学校評価の結果について

###### ◇アンケートの回答状況

教職員20名、保護者192世帯中のべ115世帯が回答。

###### ◇メディア利用

現在の若者はテレビ離れで、SNS等のメディア利用が主流。各家庭でのメディアの取り扱い方が多様化しており、親の理解、家庭でのルールが重要である。保護者へ継続的に情報を伝える必要がある。PTAとも連携して取組を進めたい。メディアから離れる意味でも、現在も行っている読み聞かせボランティアは有効である。

###### ○生徒指導の実態について

###### ◇いじめへの対応

子供の記憶が鮮明なうちに迅速に対応していることが解決につながっている。現在の子供たちの実態は、20年前とは大きく異なる。現在は積極的に認知し、解決を図っていることが説明からも分かった。

###### ◇校外での子供たちの気になる行動

下校時の危険な行動（雪投げ、走り出す）について、親や教師が注意を促す必要がある。地域での行動と学校での行動の違いを理解し、適切な指導を行う。子供たちがTPOを理解し、自発的に行動することが重要。

##### ② 令和7年度の学校づくりに向けての意見交換

###### ○PTAの現状について

役員決めは立候補者が少なく、くじ引きで決めることが多い。しかし、PTA役員は学校と保護者の橋渡し役であり、学校とのコミュニケーションが円滑になる。読み聞かせボランティアや地域の行事への参加が少ない。楽しいPTA活動となるようにしていけるとよい。

###### ○学校参画について

地域の人々がもっと関与できるような仕組みが必要。統合前は学校行事で学校に保護者や地域が関わるが多かった。統合やコロナ禍でその機会が減少し、学校に行く機会が少なくなったことに寂しさを感じる。統合後は地区での活動がさらに

難しくなっている。今の親世代は、かつて PTA 活動や学校行事が盛んだった時代を経験している子供だったため、協力を期待できるのではないか。

③ 子供たちのために、どのような関わりができるかについての意見交換

○校長より

- ・教育目標に「つなぐ」というキーワードを取り入れたい。友達同士や地域とのつながりを重視し、社会に貢献できる人材を育成する。挨拶やコミュニケーション能力を重視する。
- ・子供たちが主役の学校、子供たちが主体的に活動できる学校を目指す。失敗を恐れずに自分たちで行事を企画し、実行する子供を育成する。また、子供たちの意見を取り入れた学校運営を行う。

○協力・参加が見込まれる行事等

- ・交通安全教室での歩行訓練の実地での見守り
- ・5月と10月の花壇の植え替え…各地区の花と緑の銀行（各地区のコミュニティセンターと連絡調整）を通じて、人材を確保。

○その他

- ・体力調査、学力調査等のデータを外部基準（他校等）と比較できると、星の杜小学校の様子が浮き彫りになる。

④ 令和7年度の委員予定について

会長：高島委員、副会長：二川委員、委員は各地区の担当を継続。

V その他

- ・令和7年度第1回学校運営協議会は4月18日(金)開催予定

VI 閉会挨拶（二川委員）